

# ある軍医の戦中戦後

## 《1937-1948》

7月  
下旬刊

小野寺龍太

四六判・352頁  
定価 2200円 +税

ISBN 978-4-86329-272-7  
C 0095

### 目次から

- I 軍医として北支へ(昭和12年～14年)
- II 召集解除(昭和15～18年)
- III 朝鮮赴任から引揚げまで(昭和18年～20年)
- IV 敗戦後(昭和20年～23年)

小野寺精喜年譜



昭和13年頃、中国陽泉近郊で

日支事変(1937)から敗戦直後(1948)まで、従軍手帖と家族間の往復書簡から甦る、戦地と銃後(日本本土)の日常を、追体験するドキュメント!!

現代日本では、戦争は最大の悪で、前線は残虐、銃後は悲惨に描かねばならぬ、という風潮があり、「事実をそのままに伝える」という歴史学の本道が忘れられているように感じる。しかし戦争中でも人は可笑しければ笑い、悲しければ泣き、怒ったり喜んだりしていたのであり、それをそのまま描いてこそ「その時代」を理解し、再体験することが出来ると思う。(本書「はじめに」から)

◆戦後78年間、大切に保管されていた従軍手帖と手紙から甦る混乱期の世相!

《著者の横顔》 小野寺龍太(おのでら・りゅうた)

1945年生まれ。福岡県立修猷館高等学校卒業。九州大学大学院工学研究科博士後期課程単位修得退学。九州大学名誉教授(工学博士)。現在、日本近代史、特に幕末期の幕臣の事蹟を調べている。著書『古賀謹一郎』(ミネルヴァ書房、2006年)『栗本鋤雲』(同、2010年)『岩瀬忠震』(同、2018年)『日露戦争時代のある医学徒の日記—小野寺直助が見た明治』(弦書房、2010年)『幕末の魁、維新の殿—徳川斉昭の攘夷』(同、2012年)他。

[FAX: 092-726-9886]

地小出版 流通センター 取扱品 書店・帖合 ご担当者様	冊	ある軍医の戦中戦後 《1937-1948》	小野寺龍太 定価 2200円+税 ISBN 978-4-86329-272-7
	冊	占領と引揚げの肖像BEPPU 1945 1956	下川正晴 定価 2200円+税 ISBN 978-4-86329-203-1
	冊	忘却の引揚げ史 泉靖一と二日市保養所	下川正晴 定価 2200円+税 ISBN 978-4-86329-155-3
	冊	戦地巡歴 わが祖父の声を聴く	井上佳子 定価 2200円+税 ISBN 978-4-86329-176-8
	ご注文日 様 [ / ]	弦書房 —Genshobo—	〒810-0041 福岡市中央区大名2-2-43 ELK大名ビル301 TEL:092-726-9885 FAX:092-726-9886 URL <a href="http://genshobo.com/">http://genshobo.com/</a> e-mail <a href="mailto:books@genshobo.com">books@genshobo.com</a>